

東日本大震災による東北地方の観光地の認知度と来訪意向に関する研究

東北工業大学

○渡邊 雄大

東北工業大学 正会員

森田 哲夫

1. はじめに

(1)研究の背景

2011年3月11日に東日本大震災を経験した東北地方は復旧・復興活動が進み、震災以前の状況に近づいてきている。大震災以降、東北地方の被災地や観光地は報道などによって全国的に認知度が向上したと言える。また、観光地を認知したことにより来訪意向は大きく変化した可能性がある。

(2)研究の目的

- 東北地方観光地の認知度、来訪経験、来訪意向を調査する。
- 認知度、来訪経験、来訪意向の特性を比較し、関係性を把握する。
- 東日本大震災の影響を受け、観光地の被害状況等が報道されたことによる認知度の変化を把握する。また、大震災前後で東北地方への来訪意向の変化を把握する。

2. 研究対象地域

東北地方の太平洋沿いの3県（岩手県、宮城県、福島県）とする。観光地の選定方法は震災前の2010年度において、県庁所在地を除いた観光入込み客数の多い上位2箇所を選定した。沿岸地域では津波による人的被害が大きい地域ほど報道などにより認知された可能性が高いため、各県の津波による最大人的被害（死者数）の市町村を選定する。各市町村の観光スポットは「るるぶ」より人気ランキング上位2つを選定した。対象地域は図-1のようになる。

3. 調査概要

アンケート調査ではweb調査を利用し、調査内容は1)個人属性、2)観光地の認知度、3)観光地の来訪経験・来訪意向、4)震災による認知度・来訪意向である。回答者は携帯電話・スマートフォン向けプレゼント付アンケートサイト「ここワン」の登録会員（一般消費者）である。調査項目は参考文献1)を参考に設定した。アンケート調査概要は表-1に示した。

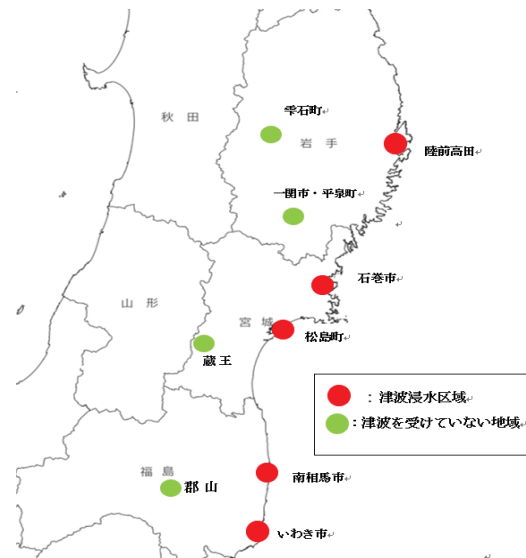


図-1 研究対象地域

表-1 アンケート調査概要

調査方法	Web 調査	
	サンプル数	706 票
	調査期間	2015 年 12 月 20 日～12 月 28 日
個人属性	個人属性	・性別・年齢・居住地
認知度	知っている・聞いたことがある	鶯宿温泉 (岩手県雫石町)
		小岩井農 (岩手県雫石町)
来訪経験	行ったことがある	中尊寺 (岩手県一関市・平泉町)
		厳美溪 (岩手県一関市・平泉町)
来訪意向	行ってみたい・もう一度行きたい	箱根山 (岩手県陸前高田市)
		奇跡の一本松 (岩手県陸前高田市)
震災による認知度	震災により知った	瑞巖寺 (宮城県松島町)
		五大堂 (宮城県松島町)
		蔵王御釜 (宮城県蔵王町・川崎町)
		遠刈田温泉 (宮城県蔵王町・川崎町)
		石ノ森萬画館 (宮城県石巻市)
		日和山 (宮城県石巻市)
		あぶくま洞 (福島県郡山市)
		猪苗代湖 (福島県郡山市)
		スプリングリゾートハワイアンズ (福島県いわき市)
		アクアマリンふくしま (福島県いわき市)
		野馬追の里博物館 (福島県南相馬市)
		松川浦 (福島県南相馬市)
震災による来訪意向	震災による来訪意向の変化	・以前よりも訪問したいと思うようになった
		・どちらかといえば以前よりも訪問したいと思うようになった
		・以前と変わらない
		・どちらかといえば以前よりも訪問したいと思わなくなった
		・以前よりも訪問したいと思わなくなった
		・以前よりも訪問したいと思わなくなった
	そう感じた観光地	各対象地域

キーワード：東日本大震災、東北地方、観光地、認知度、来訪意向、web 調査

連絡先：〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1

e-mail: ttmorita@tohtech.ac.jp

4. 認知度と来訪経験の把握

(1) 認知度と居住地方の関係性の把握

回答者の 706 サンプルのうち男性が 340、女性が 366 サンプルである。対象観光地の中で、最も認知度が高かったのが奇跡の一本松（岩手県陸前高田市）72.9%である。2 番目に多かったのが福島県の猪苗代湖 72%である。男女別で認知度に大きな変化はなかった。居住地域別（図 - 2）では対象地域から距離が離れるほど認知度が下がる傾向があった。

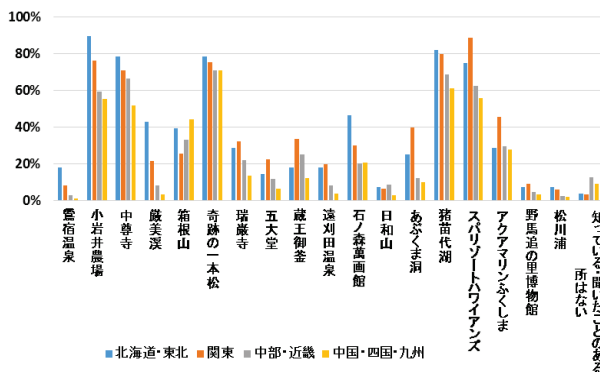


図-2 各対象地域の認知度と居住地域

(2) 認知度と来訪経験の把握

来訪経験が最も高かったのが福島県の猪苗代湖で 20.8%ある。猪苗代湖は認知度も高く、来訪経験も高いことがわかる。一方で、奇跡の一本松は認知度が最も高かったが来訪経験が 1.8%と大幅に低くなっている（図 - 3）。来訪経験が少ないのに対し認知度が高いのは震災などによる報道で知られた可能性が高いと考えられる。

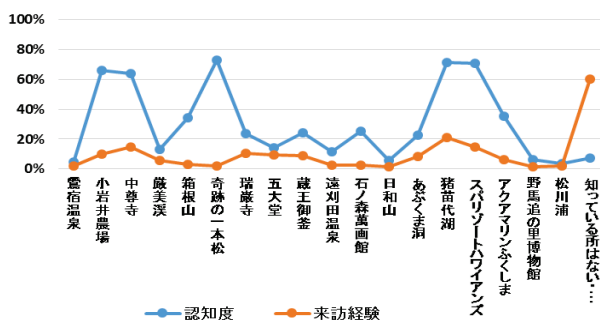


図 - 3 認知度と来訪経験

5. 東日本大震災による認知度・来訪意向への影響

(1) 東日本大震災による認知度の変化の把握

奇跡の一本松が最も認知されているが震災によって初めて知ったという割合から比較すると奇跡の一本松は認知度のうち 92.8%が震災によるものである。他の観光地では震災による認知は低く、それ以前から認知されていた可能性がある中、奇跡の一本松は震災により

大幅に認知度が向上したのがわかる。（図-4）

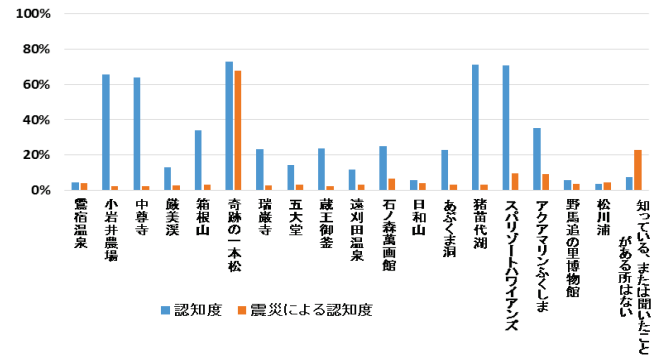


図 - 4 震災による認知度の割合

(2) 東日本大震災による来訪意向への変化

図 - 5 より震災後の観光地への来訪意向は震災前より向上したことがわかる。図-6 より震災以前より来訪意向が上がった観光地が多くある中、中尊寺、奇跡の一本松、スパリゾートハワイアンズは大幅に来訪意向が上昇したとわかる。

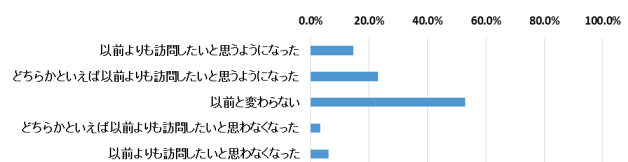


図-5 東日本大震災後の来訪意向の変化

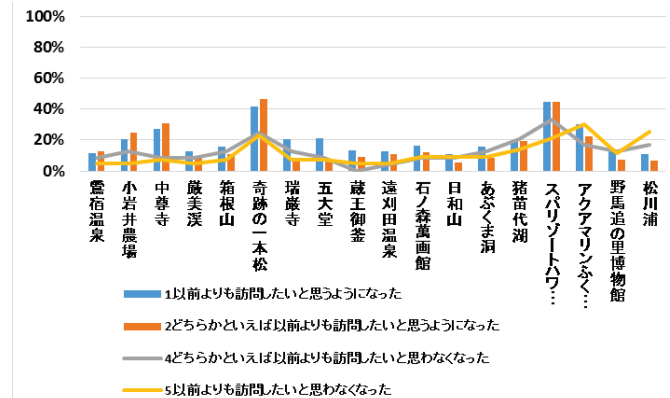


図 - 6 各観光地の来訪意向

6. まとめ

被災地は来訪意向が震災以前より下がったと予想していたが被災地問わず多くの観光地は震災以前より上昇している。また、奇跡の一本松が認知度、来訪意向共に大幅に向上したことがわかる。東日本大震災が起きたことにより、東北地方の観光地は様々な困難を抱える事となったが認知度や来訪意向の向上により観光客の増加が見込める。

参考文献

- 1) (財)日本交通公社：東北・北関東の観光地の認知度・来訪意向度に関する調査結果（2011 年 12 月）